



取り付けおよび接続

この章では、Cisco Catalyst C8300 シリーズ エッジプラットフォームを LAN、WAN、および音声ネットワークにインストールして接続する方法について説明します。



(注) これらのルータは、隣接デバイスが完全な動作状態にある場合、30分以内に起動するように設計されています。

次のセクションでは、技術的な詳細情報について説明します。

- [安全上の警告 \(1 ページ\)](#)
- [必要な知識 \(2 ページ\)](#)
- [はじめる前に \(2 ページ\)](#)
- [デバイスの開梱 \(2 ページ\)](#)
- [デバイスの設置 \(2 ページ\)](#)
- [デバイスへの電源接続 \(20 ページ\)](#)
- [コンソール端末またはモデムへの接続 \(21 ページ\)](#)
- [Silicon Labs USB デバイスドライバのインストール \(23 ページ\)](#)
- [WAN および LAN インターフェイスの接続 \(24 ページ\)](#)

安全上の警告



警告 クラス A エミッション要件に適合するために、シールド付き管理イーサネット、CON、AUX ケーブルをルータで使用する必要があります。



警告 クラス A エミッション要件に適合するために、シールド付きツイストペア T1/E1 ケーブルを、ルータの SPA-8-Port Channelized T1/E1 SPA (SPA-8XCHT1/E1) に対して使用する必要があります。EN55022/CISPR22 警告文

必要な知識

CLI コンソール アクセス

ルータの USB または RJ-45 コンソールポートを使用して、Cisco Internet Operating System (IOS XE) のおよび XE SD-WAN のコマンドラインインターフェイス (CLI) にアクセスし、構成タスクを実行します。ターミナルエミュレーションプログラムは、ルータと PC 間で通信を確立する必要があります。手順については、このマニュアルの「コンソール端末またはモデムへの接続」セクションを参照してください。



(注) Microsoft Windows USB ドライバをインストールしてから、ルータと PC の間に物理的な接続を確立する必要があります。

ソフトウェア ライセンス

ルータのすべての機能を使用するには、ソフトウェアパッケージを購入する必要があります。ソフトウェアライセンスの詳細については、『Software Configuration Guide for the Cisco Catalyst C8300 Series Edge Platforms』の「Smart Licensing」セクションを参照してください。

はじめる前に

Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジプラットフォームを設置および接続する前に、安全性に関する警告を読み、次の工具と機器を用意します。必要な工具と機器の詳細については、「工具および機器」セクションを参照してください。

デバイスの開梱

デバイスを設置する準備が整うまで、モジュールは開梱しないでください。しばらくの間、最終的な設置場所の準備が整わない場合、不慮の損傷を防ぐために、輸送用の箱にシャーシを保管しておきます。シャーシを設置する準備が整ったら、開梱を進めます。

注文したシャーシ、アクセサリキット、マニュアル、およびオプションの機器によっては、複数の箱で納品されることがあります。開梱するときは、納品書を確認して、リストのアイテムがすべて送付されていることを確認します。

デバイスの設置

C8300-1N1S-4T2X|6T と C8300-2N2S-4T2X|6T にネットワーク インターフェイス モジュール (NIM)、サービスモジュール (SM)、着脱可能インターフェイスモジュール (PIM)、および

び現場交換可能ユニット (FRU) を取り付ける必要がある場合、デバイスの取り付け前または取り付け後にそれらを取り付けることができます。理想的には、デバイスの I/O 側にアクセスするときに、これらのモジュールを取り付けることができます。デバイスをラックに取り付ける前に、内部モジュール、メモ리카ード、およびファントレイを取り付ける必要があります。

次のいずれかの方法でデバイスを設置することができます。

- シャーシのデスクトップへの設置
- シャーシの壁面への取り付け
- シャーシのラックへの取り付け



(注) C8300-2N2S-4T2X|6T はラックマウントのみをサポートしており、壁面マウントまたはデスクトップマウントオプションはサポートしません。



警告 オン/オフスイッチのあるシステムを扱う際は、事前に電源をオフにして、シャーシにある電源コードを外しておいてください。ステートメント 1



注意 シャーシの損傷を防ぐために、前面のプラスチックパネルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりしないでください。必ずシャーシの金属の本体の側面を持ってください。

シャーシのデスクトップへの取り付け

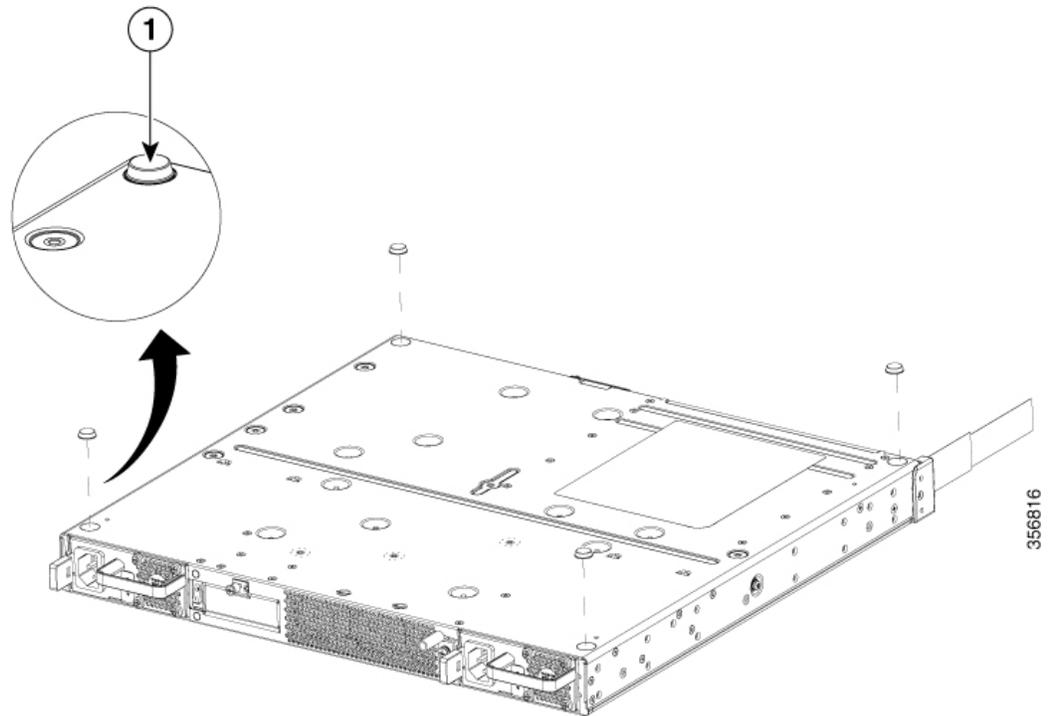


警告 怪我またはシャーシの破損を防ぐために、モジュール (電源装置、ファン、またはカードなど) のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対に避けてください。これらのハンドルは、シャーシの重さを支えるようには設計されていません。ステートメント 1032

ステップ 1 ゴム製の設置用脚 (ラベル 1) をデバイスの下部に取り付けます。脚には、あらかじめ接着剤が付いています。円でマークされた場所に脚を設置します。

ステップ 2 デバイスは、デスクトップ、ベンチトップ、シェルフに設置できます。

図 1:



(注) 高い音響ノイズが問題となる場所にシャーシを設置しないでください。



注意 デバイスの上部に 4.5 kg (10 ポンド) 以上のものを置かないでください。また、卓上に複数のデバイスを重ねて置かないでください。10 ポンドを超える過度の配分重量または 10 ポンドの点荷重のものを卓上に置くとシャーシを破損するおそれがあります。



注意 シャーシの取り付けには、シャーシを冷却するために通気をよくする必要があります。デスクトップにデバイスを設置する場合、冷却気の取入れ口や排気口とは別に、少なくとも 2.54 cm (1 インチ) の空間を空けます。

デバイスの設置後は、シャーシを信頼性の高いアースに接続する必要があります。シャーシのアース接続手順については、「シャーシのアース接続」の項を参照してください。

シャーシのラックマウント



警告 この装置は、接地させる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかはつきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。ステートメント 1024

C8300-1N1S-4T2X|6T と C8300-2N2S-4T2X|6T は、19 インチ (48.26 cm) EIA および 23 インチ (58.42 cm) Southwestern Bell Corporation (SBC) ラックに設置できます。C8300-1N1S-4T2X|6T と C8300-2N2S-4T2X|6T は、600 mm ETSI ラックに取り付けることもできます。19 インチ EIA ラックにシャーシを設置するには、ルータに同梱されている標準の金具を使用します。23 インチ SBC ラックにシャーシを設置するには、オプションの大きな金具を注文できます。

デバイスは次のように設置できます。

- 電源 (PS) のマウント：前面パネルを正面に向け、シャーシの電源側にブラケットを取り付けます。
- 中央電源のマウント：電源側を正面に向け、シャーシの中央にブラケットを取り付けます。
- 中央 I/O のマウント：I/O 側のみを正面に向け、シャーシの中央 I/O 側にブラケットを取り付けます。
- I/O のマウント：I/O 側を正面に向け、シャーシの I/O 側にブラケットを取り付けます。

ラックマウントブラケットの取り付け



注意 ネジは締めすぎないようにします。推奨されるトルクは 15～18 インチポンド (1.7～2.0 N-m) です。



注意 シャーシの取り付けには、シャーシを冷却するために通気をよくする必要があります。

付属のネジを使用し、次の図を参照して、シャーシにラック取り付けブラケットを取り付けます。No.2 プラスドライバを使用します。

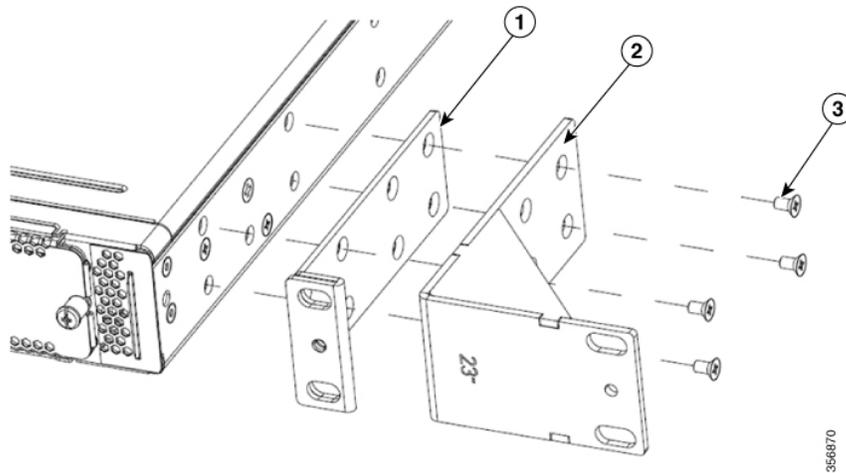
C8300-1N1S-4T2X|6T デバイスにラックマウントブラケットを取り付けるには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 装置ラック内のルータの奥行位置を選択します。I/O 側と同一面、RFID バッジ用の I/O 側のくぼみ、I/O 側からのミッドマウント、電源側からのミッドマウント。または電源側の同一面。
- ステップ 2** ラックマウントブラケットをデバイスの側面の取り付け穴に合わせます。
- ステップ 3** #6-32 FHM ネジを挿入します。ラックマウントブラケットキットに付属のネジだけを使用してください。

ラックマウントブラケットの取り付け

ステップ4 15 ~ 18 インチポンド (1.7 ~ 2.0 N-m) のトルク値でネジを締めます。

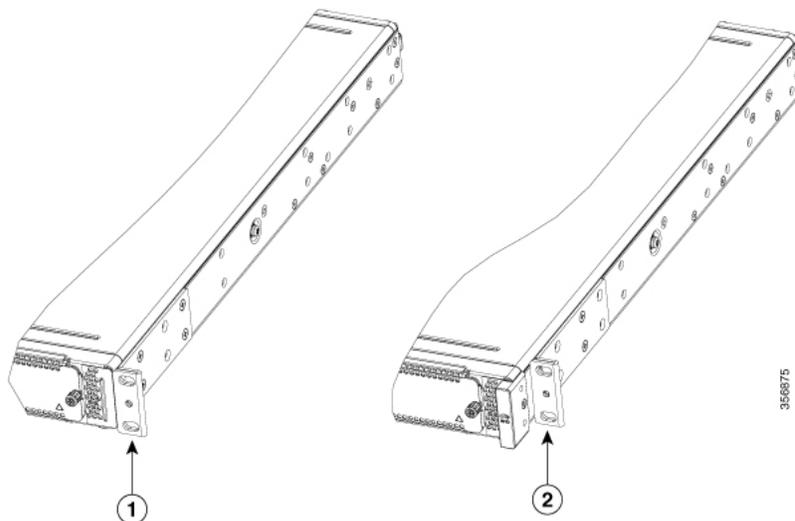
図 2: I/O 側マウント用ブラケットの取り付け (C8300-1N1S-4T2X|6T)



356870

1	19 インチ ブラケット
2	23 インチ ブラケット
3	#6-32 PHMS

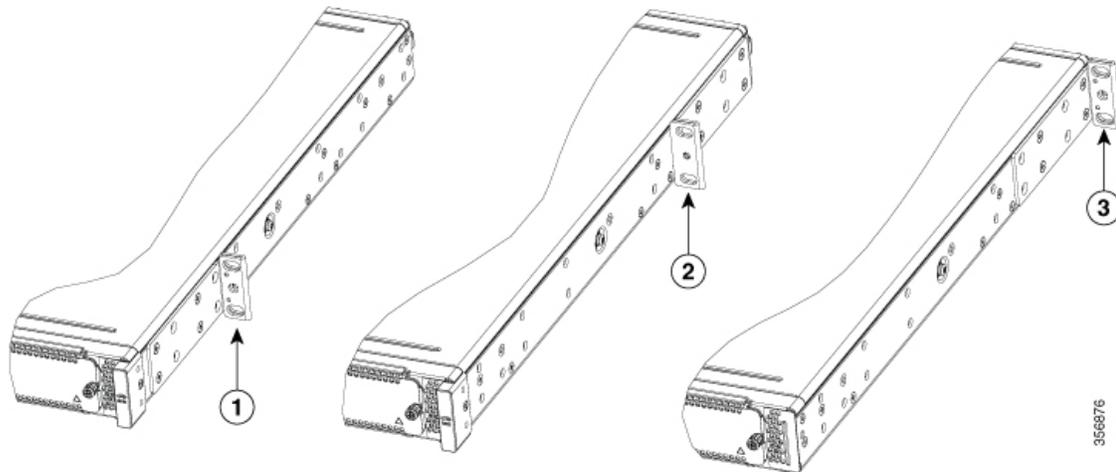
図 3: ラックマウントブラケットの取り付け位置



356875

1	I/O 側と同一面 (RFID なし)
2	I/O 側のくぼみ (RFID 用)

図 4:電源マウントブラケットの取り付け (C8300-1N1S-4T2X|6)

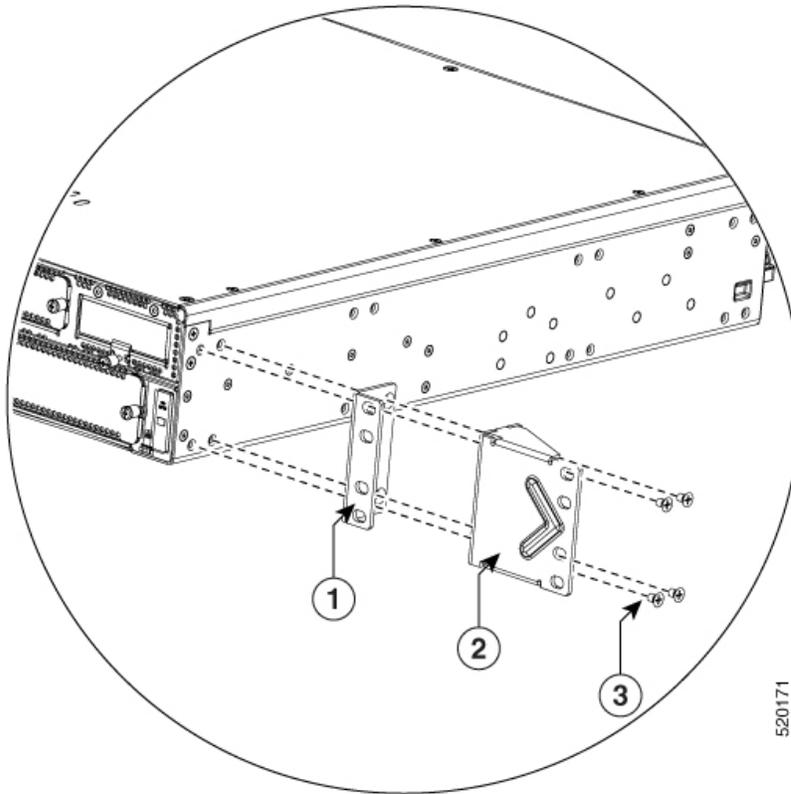


1	I/O 側からのミッドマウント
2	電源側からのミッドマウント
3	電源側の同一面

ラックマウントブラケットを C8300-2N2S-4T2X|6T デバイスに取り付けるには、次の手順を実行します。

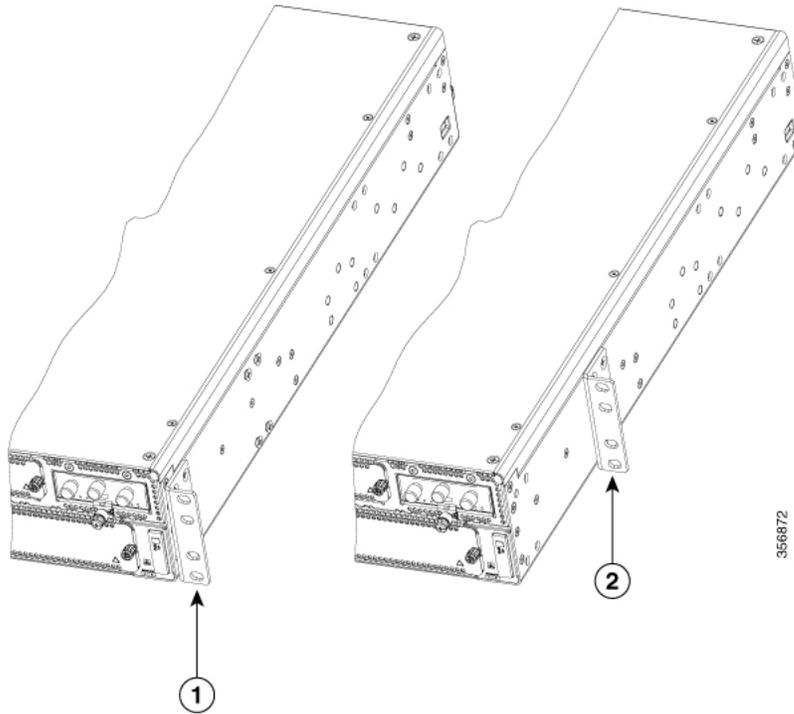
- ステップ 1** 装置ラック内のルータの奥行位置を選択します。I/O 側と同一面、RFID バッジ用の I/O 側のくぼみ、I/O 側からのミッドマウント、電源側からのミッドマウント。または電源側の同一面。
- ステップ 2** ラックマウントブラケットをデバイスの側面の取り付け穴に合わせます。
- ステップ 3** #8-32 FHM ネジを挿入します。ラックマウントブラケットキットに付属のネジだけを使用してください。
- ステップ 4** 15 ~ 18 インチポンド (1.7 ~ 2.0 N-m) のトルク値でネジを締めます。

図 5: I/O 側マウントブラケットの取り付け (C8300-2N2S-4T2X|6T)



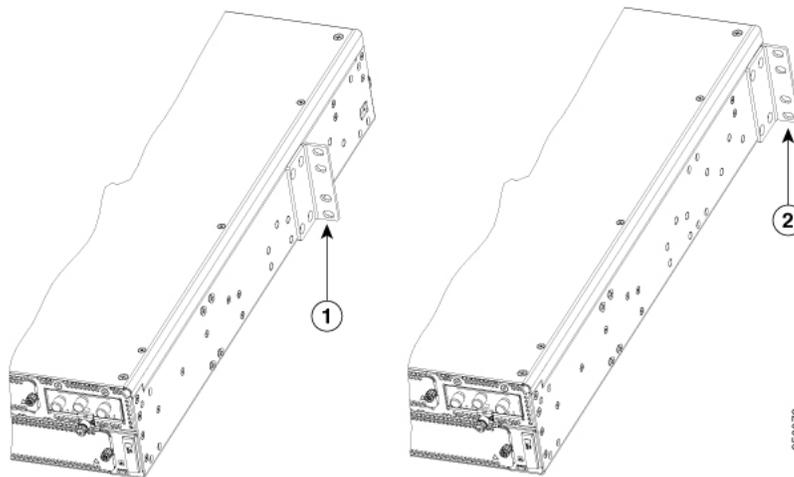
1	19 インチ ブラケット
2	23 インチ ブラケット
3	#8-32 FHM ネジ

図 6: I/O 中央マウントブラケットの取り付け (C8300-2N2S-4T2X|6T)



1	I/O 側と同一面
2	電源側からのミッドマウント

図 7: 電源マウントブラケットの取り付け (C8300-2N2S-4T2X|6T)



1	電源側からのミッドマウント
---	---------------

2	電源側の同一面
---	---------

シャーシのラックへの取り付け

ラックマウントブラケットをシャーシに取り付けたら、ネジを使用してシャーシをラックに設置します。



(注) C8300-2N2S-4T2X はラックマウントのみをサポートしており、壁面マウントまたはデスクトップマウントオプションはサポートしません。



ヒント 19 インチ EIA ブラケットおよび 23 インチブラケットの両方に対して、まず下側の 2 つのネジを少し締め、下側のネジでブラケットを支えている間に、上側の 2 つのネジを挿入します。



ヒント 金具のネジ穴は、ラックのネジ穴の 1 個おきのペアに合わせて間隔が開いています。正しいネジ穴を使用すると、金具の小さなネジ穴がラックの未使用のネジ穴とそろいます。小さな穴がラックの穴とそろわない場合、次のラックの穴に合わせて金具を上下する必要があります。



警告 ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- ・ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ・ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。
- ・ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守したりしてください。ステートメント 1006



警告 怪我またはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、またはカードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対に避けてください。これらのハンドルは、シャーシの重さを支えるようには設計されていません。ステートメント 1032

下図に、ラックへのシャーシの一般的なラックマウントを示します。

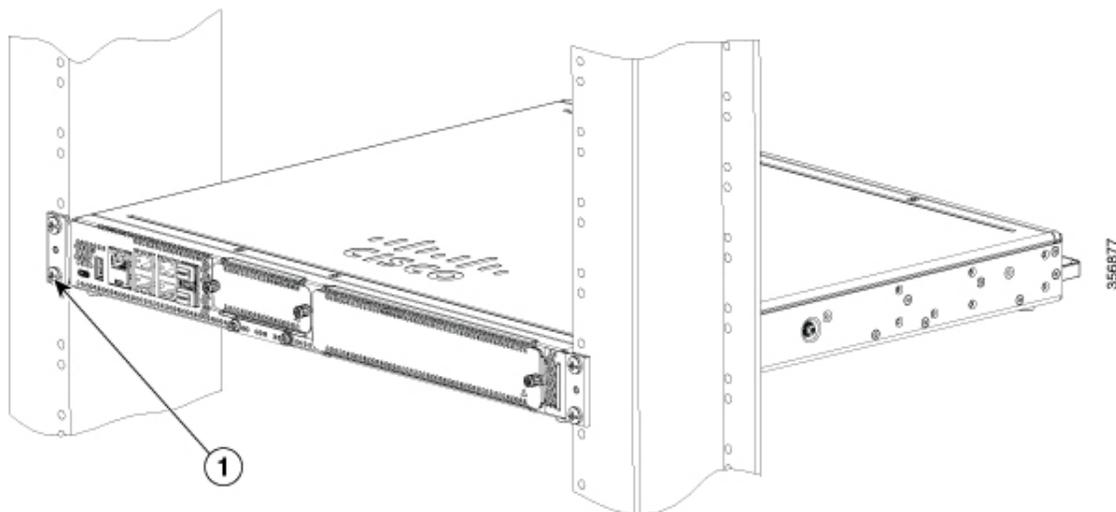
ステップ1. 装置ラックの目的の位置を確認します。

ステップ2 ラックマウントブラケットの穴と機器フレームの取り付け穴を合わせます。

ステップ3. 機器フレームに適した取り付けネジを使用してデバイスを固定します。ラックマウントブラケットは #12-24 PHM ネジ用に設計されています。

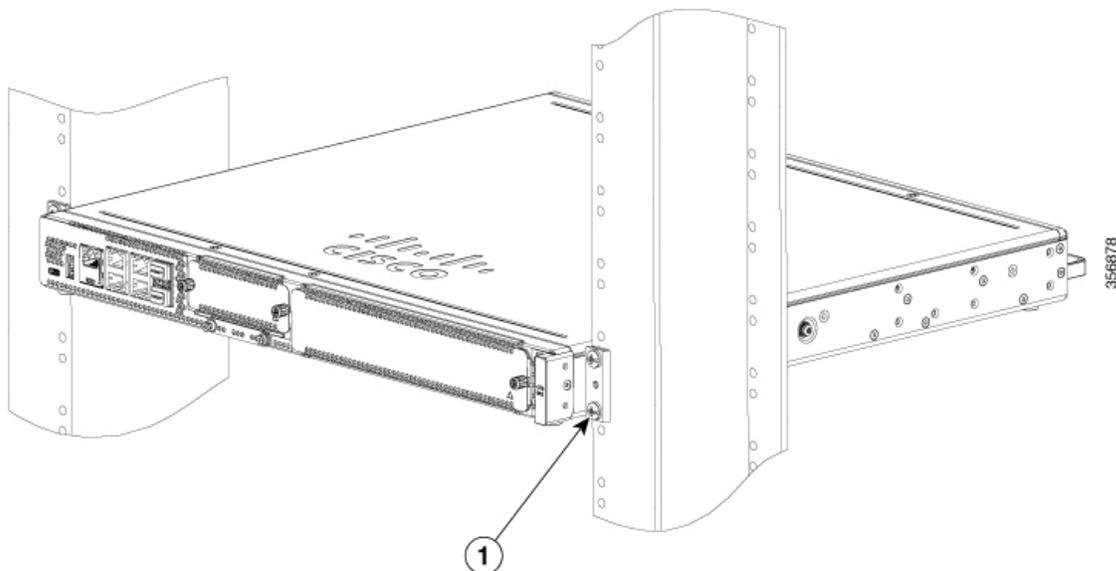
ステップ4. 機器に適したトルク値でネジを締めます。

図 8: I/O フラッシュマウント、RFID なし (C8300 1N1S-4T2X|6T)



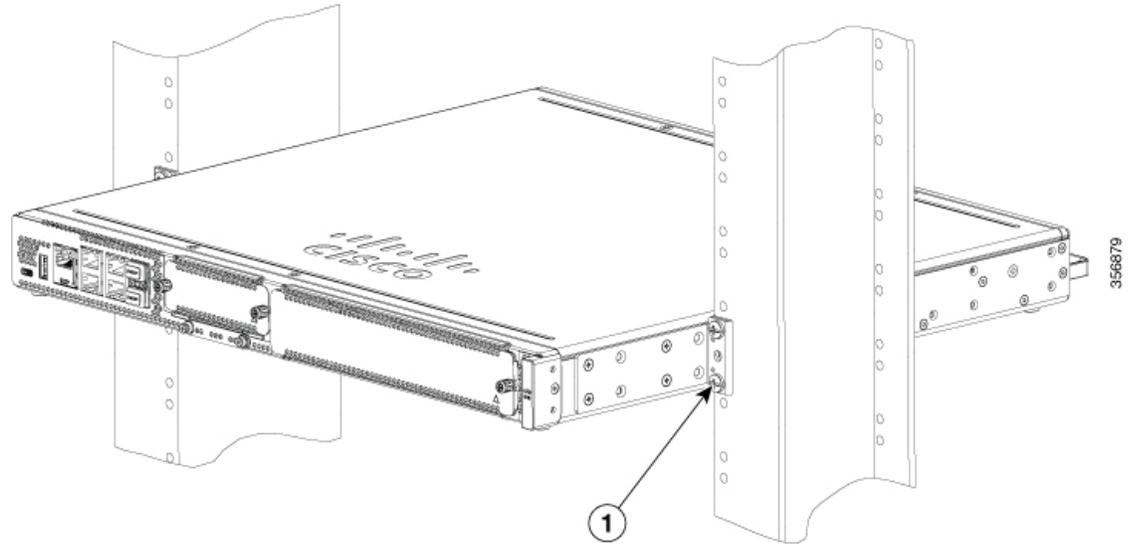
ラックマウントネジ

図 9: RFID 付き I/O マウント (C8300 1N1S-4T2X|6T)



ラックマウントネジ

図 10: I/O 側からのミッドマウント (C8300-1N1S-4T2X|6T)



ラックマウントネジ

下図に、ラックへのシャーシの一般的なラックマウントを示します。

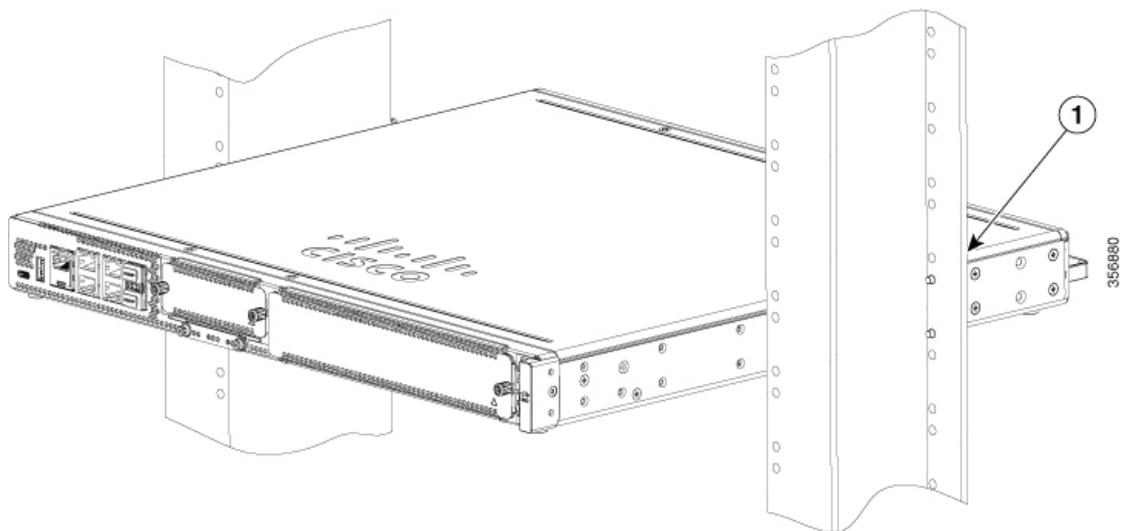
ステップ 1. 装置ラックの目的の位置を確認します。

ステップ 2 ラックマウントブラケットの穴と機器フレームの取り付け穴を合わせます。

ステップ 3. 機器フレームに適した取り付けネジを使用してデバイスを固定します。ラックマウントブラケットは #12-24 PHM ネジ用に設計されています。

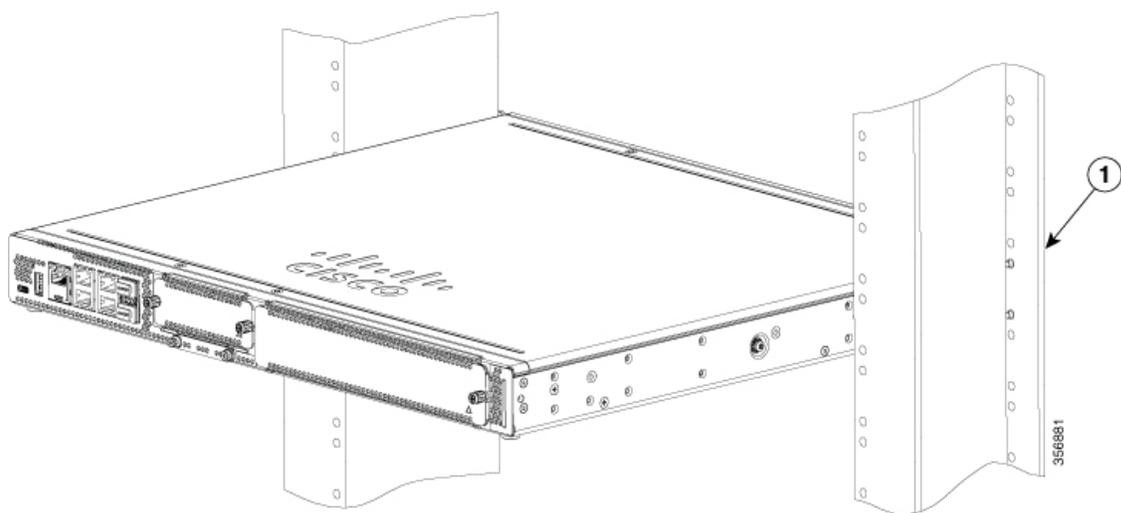
ステップ 4. 機器に適したトルク値でネジを締めます。

図 11: 電源側からのミッドマウント (C8300-1N1S-4T2X|6T)



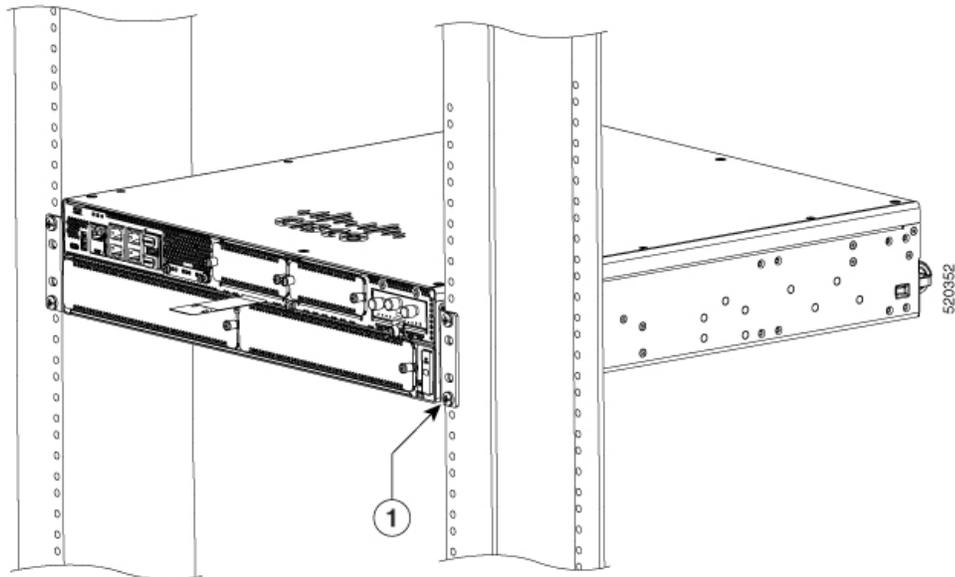
ラックマウントネジ

図 12: 電源のサイドマウント (C8300 1N1S-4T2X|6T)



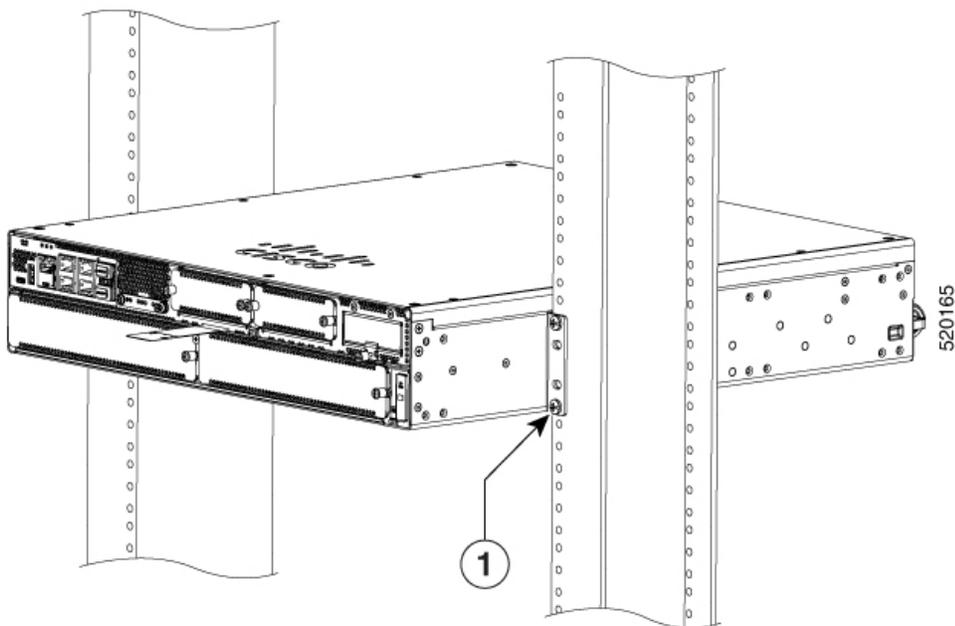
ラックマウントネジ

図 13: ラック内の I/O マウント (C8300 2N2S-4T2X|6T)



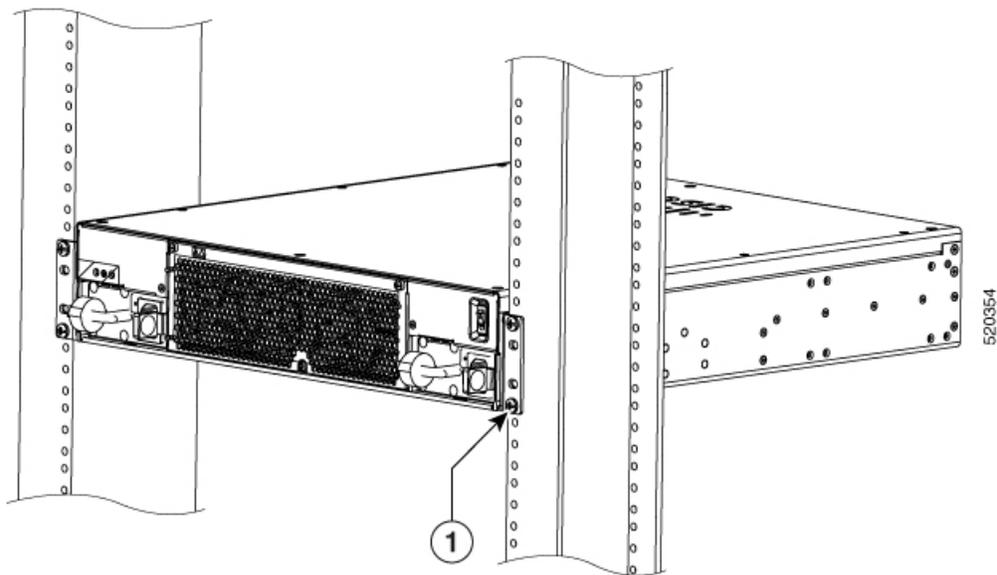
1	ラックマウントネジ
---	-----------

図 14: I/O 側からのミッドマウント (C8300 2N2S-4T2X|6T)



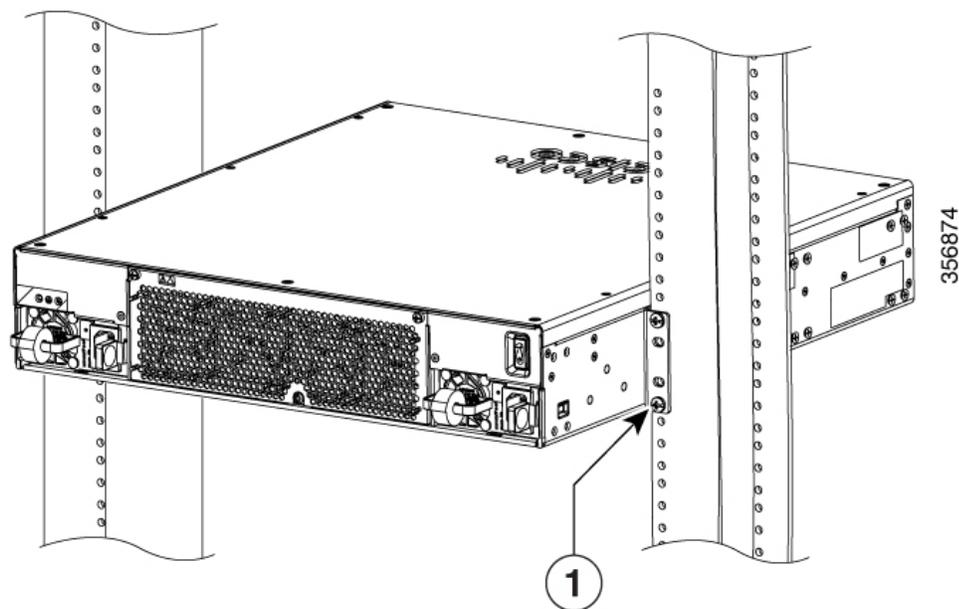
1 ラックマウントネジ

図 15: 電源側のマウント (C8300 2N2S-4T2X(6T))



1 ラックマウントネジ

図 16: 電源側からのミッドマウント (C8300 2N2S-4T2X|6T)



1	ラックマウントネジ
---	-----------

Cisco Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジ プラットフォームを壁面に取り付ける



注意 C8300-1N1S-4T2X|6Tのみが壁面に取り付けられるように設計されています。C8300-2N2S-4T2X|6Tは壁面取り付けられるように設計されていません。



注意 C8300-1N1S-4T2X|6Tを壁に取り付ける場合は、常にデバイスの側面を下向きにしてください。I/O側と電源側は、ファンの吹き出し口とケーブル導入口が左または右に向くようにする必要があります。I/O側または電源は下向きにしないでください。



注意 シャーシの取り付けには、シャーシを冷却するために通気をよくする必要があります。

ステップ 1 壁面マウントキット (#6-32 X 0.44 インチ PHMS) に付属の金具のみを使用して、デバイスの側面にラックマウントブラケットを取り付けます。

ステップ2 ラックマウントブラケットのラック取り付け部の外面（通常は装置ラックに取り付ける部分）をルータの側面に当てます。付属のスペーサを使用して、ネジをはめ込むための大きな穴を小さな穴に合わせます。

ステップ3 下図に示すように、ブラケットを互いに対角線上に配置する必要があります。

ステップ4 トルク値 15 ~ 18 インチポンドでネジを締めます。（1.7 ~ 2.0 N-m）。

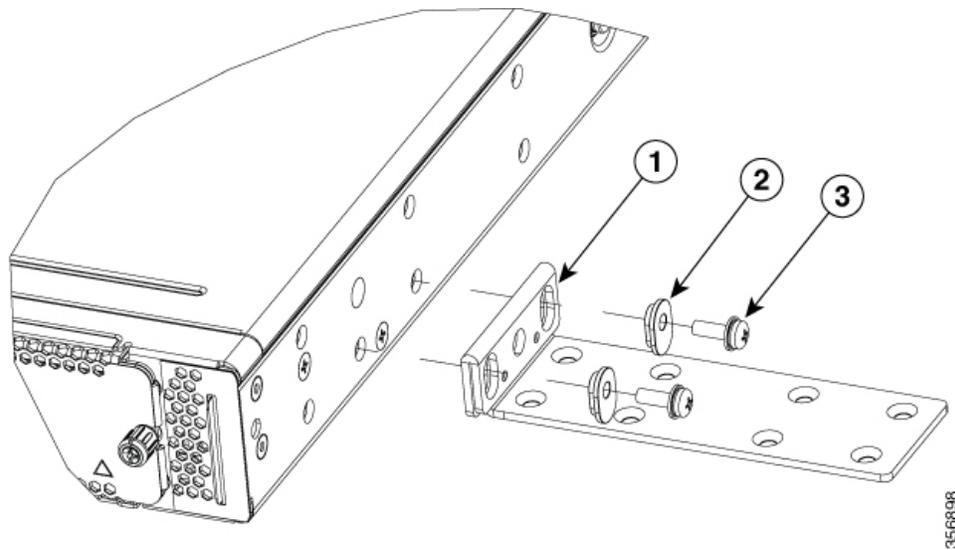
ステップ5 #6 または 4 mm の金具を使用して、ブラケットを壁面に取り付けます。ブラケットごとに少なくとも 4 本、合計 8 本のネジを使用する必要があります。ネジの長さは 1 インチ（25.4 mm）以上である必要があります。



(注) お客様側で適切な金具を用意します。各マウントブラケットには、取り付け留め具に使用できる 8 つの穴があります。

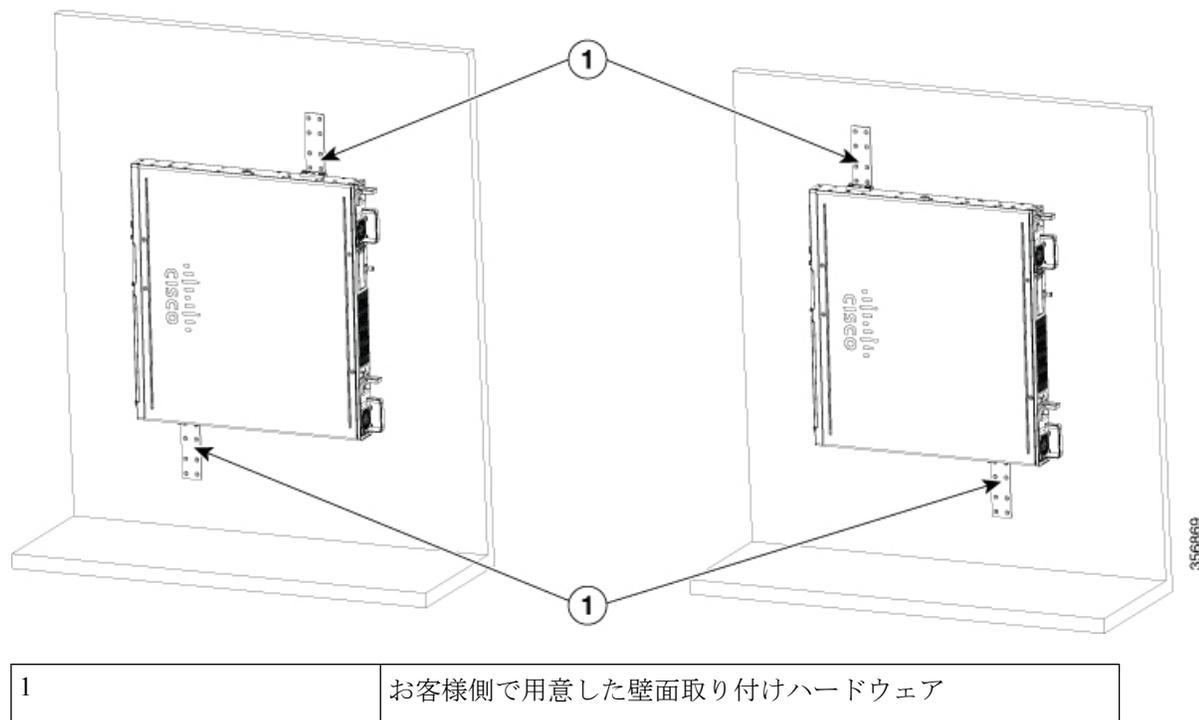
ステップ6 コネクタまたは取り付け金具を引っ張らないようにケーブルを配線します。

図 17: 壁面マウントブラケットの取り付け (C8300-1N1S-4T2X[6T])



1	19 インチブラケット
2	プラスチックスペーサ
3	#6-32 PHMS

図 18 : C8300-1N1S-4T2X|6T の壁面取り付け



シャーシの接地

デバイスの設置後は、シャーシを信頼性の高いアースに接続する必要があります。

シャーシのアース接続



警告 この装置は、接地させる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。ステートメント 1024

シャーシを適切なアースに接続する必要があります。アース線は、地域の安全基準に従って取り付ける必要があります。

- アースとしては、アクセサリキットに同梱されているサイズ 6 AWG (13 mm²) の銅線およびアースラグを使用します。



(注) この機器は、ネットワーク テレコミュニケーション施設や NEC が適用される場所での設置に適しています。また、共通ボンディング網 (CBN) の一部としての設置にも適しています。

- NEC 準拠アースの場合は、14 AWG (2 mm²) 以上のサイズの銅線とユーザーが準備する適切な内径 5 ~ 7 mm (1/4 インチ) のリング端子を使用してください。
- AWG 10 (4 mm²) 以上のアース線 (EN/IEC 60950-1 と EN/IEC 62368-1 に準拠したシャーシアースの場合)。



(注) アース線のサイズは、地域および国内の設置要件に従ってください。上記の推奨 AWG 値は、NEBS 準拠、NEC 準拠、EN/IEC 60950-1、EN/IEC 62368-1 のそれぞれの最小要件であり、推奨 AWG 値が高いほど優先順位が高くなります。これは、NEBS が必要ない場合に限り、AWG 10 が最小要件であることを意味しています。シャーシからラックアースまたは共通ボンディング網 (CBN) に直接アース接続する場合、必ず市販の 6-AWG アース線を使用することを推奨します。アース線の長さは、スイッチとアース設備の間の距離によって決まります。

デバイスにアース接続を取り付ける手順は、次のとおりです。

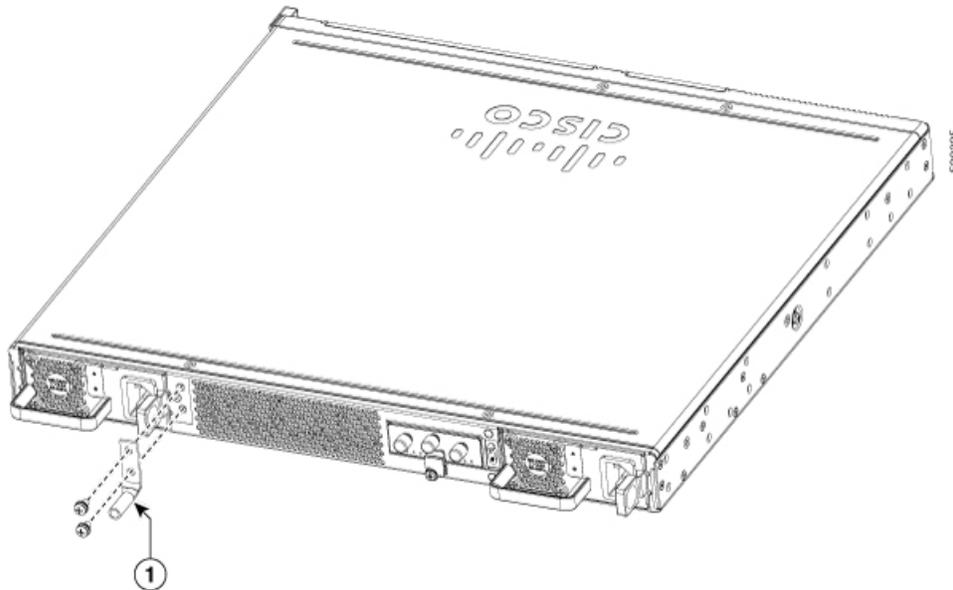
ステップ 1 アース ラグまたはアース端子に合わせて、アース線の端の被覆を必要な長さだけ取り除きます。

- アース ラグの場合：約 0.75 インチ (20 mm)
- ユーザーが用意したリング端末の場合：必要に応じて

ステップ 2 適切なサイズのクリンパを使用して、アース線をアース ラグまたはリング端末に圧着します。

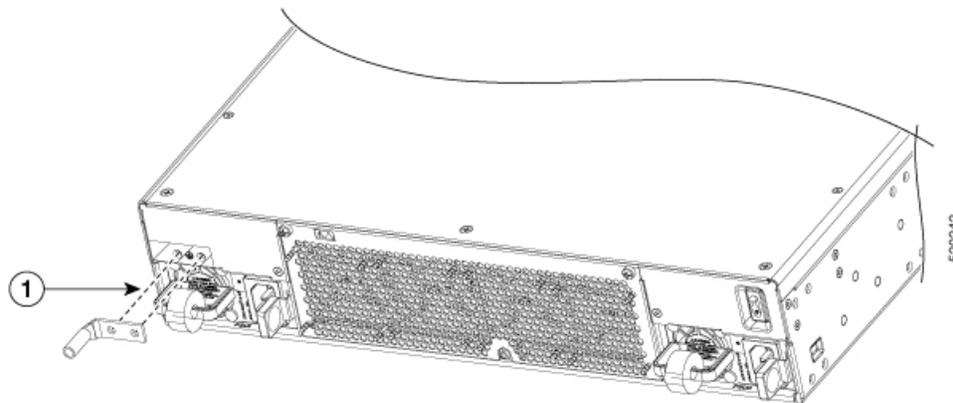
ステップ 3 アースラグまたはリング端子をシャーシに取り付けます (「シャーシのアース接続」セクションを参照)。アースラグの場合は、非脱落型ロックワッシャー付きのネジを 2 個使います。リング端子の場合は、付属ネジを 1 個使います。8 ~ 10 インチ ポンド (0.9 ~ 1.1 ニュートンメートル) のトルクでネジを締めます。

図 19: C8300 1N1S-4T2X/6T のシャーシアース接続



1	アース ラグ
---	--------

図 20: C8300 2N2S-4T2X/6T のシャーシアース接続



ステップ 4 アース線の反対側の端を、確実にアースできる接地点に接続します。

1	アース ラグ
---	--------

デバイスへの電源接続

このセクションでは、デバイスに電源を接続する手順について説明します。



警告 この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。すべての接続を取り外し、装置の電源を遮断する必要があります。ステートメント 1028



(注) 設置は、設置場所に適用される必須の電気工事規格すべてに準拠する必要があります。

デバイスが AC 電源を使用する場合、過電流保護機能付きの 15 A、120 VAC (10 A、240 VAC) 回路に接続します。



(注) AC 電源の入力電圧の許容限度は 90 および 264 VAC です。



(注) この製品は、設置する建物に電力サージ保護機構が備わっていることを前提に設計されています。電磁適合性と安全性に関する Telcordia GR-1089 NEBS 標準に準拠するために、AC 電源供給装置に外部サージ保護デバイス (SPD) を取り付ける必要があります。



警告 この製品は、設置する建物に回路短絡 (過電流) 保護機構が備わっていることを前提に設計されています。保護装置の定格電流が 20 A 以下であることを確認します。ステートメント 1005

コンソール端末またはモデムへの接続

Catalyst 8300 シリーズ エッジプラットフォームには、非同期シリアルポートがあります。これらのポートには、ルータに対するローカル (コンソール端末または PC による) の管理アクセスが用意されています。Cisco IOS CLI を使用してルータを設定するには、ルータコンソールポートと端末または PC との間に接続を確立する必要があります。

ローカルまたはリモート接続を確立するには、次のケーブルとアダプタを使用します。

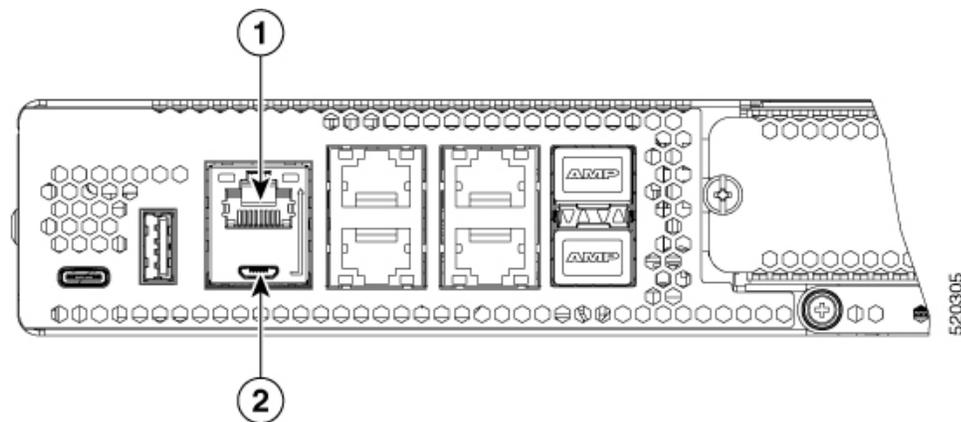


表 1: ローカルおよびリモート接続

ポートタイプ	ケーブル	セクション
1. シリアル (RJ-45)	EIA RJ-45	Microsoft Windows によるシリアルポートへの接続
2. シリアル (USB)	USB 5 ピン ミニ USB タイプ B から USB タイプ A	

Mac OS X でのコンソールポートへの接続

ここでは、Mac OS X システム USB ポートを組み込みの OS X ターミナルユーティリティを使用してコンソールに接続する方法について説明します。

ステップ 1 Finder を使用して、[Applications] > [Utilities] > [Terminal] を選択します。

ステップ 2 OS X USB ポートをルータに接続します。

ステップ 3 次のコマンドを入力して、OS X USB ポート番号を検索します。

例：

```
macbook:user$ cd /dev
macbook:user$ ls -ltr /dev/*usb*
crw-rw-rw-  1 root  wheel           9,  66 Apr  1 16:46 tty.usbmodem1a21 DT-macbook:dev user$
```

ステップ 4 次のコマンドに続けてルータの USB ポート速度を指定して、USB ポートに接続します。

例：

```
macbook:user$ screen /dev/tty.usbmodem1a21 9600
```

ターミナルウィンドウから OS X USB コンソールの接続を解除するには

Ctrl+A に続けて Ctrl+\ を入力します

Linux でのコンソールポートへの接続

ここでは、Linux システム USB ポートを組み込みの Linux ターミナルユーティリティを使用してコンソールに接続する方法について説明します。

ステップ 1 Linux のターミナル ウィンドウを開きます。

ステップ 2 Linux USB ポートをルータに接続します。

ステップ 3 次のコマンドを入力して、Linux USB ポート番号を検索します。

例：

```
root@usb-suse# cd /dev
root@usb-suse /dev# ls -ltr *ACM*
crw-r--r--  1 root    root      188,   0 Jan 14 18:02 ttyACM0
root@usb-suse /dev#
```

ステップ 4 次のコマンドに続けてルータの USB ポート速度を指定して、USB ポートに接続します。

例：

```
root@usb-suse /dev# screen /dev/ttyACM0 9600
```

ターミナルウィンドウから Linux コンソールの接続を解除するには

Ctrl+A に続けて : を入力し、それから quit と入力します

Silicon Labs USB デバイスドライバのインストール

ここでは、次の内容について説明します。

Silicon Labs Windows USB デバイスドライバのインストール

ステップ 1 Silicon Labs の Web サイト（www.silabs.com/developers/usb-to-uart-bridge-vcp-drivers?tab=downloads）にアクセスし、[CP210x Universal Windows Driver] をクリックします。

ステップ 2 ダウンロードしたフォルダを解凍し、システム構成に合わせてインストーラを選択します。デバイスドライバのインストールウィザードが開始されます。

ステップ 3 インストールウィザードで [Next] をクリックし、[Finish] をクリックしてインストールを完了します。

ステップ 4 システムでデバイスマネージャを開き、[Ports (COM & LPT)] ドロップダウンをクリックします。

- ステップ 5** USB コンソールケーブルと電源をシステムに挿入します。デバイスマネージャが更新され、新しく検出された COM ポートが示されます。
- ステップ 6** ターミナルエミュレータを開き、接続タイプに [Serial] を選択します。[Serial Line] と [Speed]（または [Baud Rate]）の値を入力します。
- ステップ 7** [Open] をクリックします。
- ステップ 8** ターミナルエミュレータが開きます。[Enter] をクリックして、コンソール出力の応答を表示します。USB コンソールを使用する準備が整いました。

Silicon Labs Mac USB デバイスドライバのインストール

- ステップ 1** Silicon Labs の Web サイト (www.silabs.com/developers/usb-to-uart-bridge-vcp-drivers?tab=downloads) にアクセスし、[CP210x VCP Mac OSX Driver] をクリックします。
- ステップ 2** [Downloads] フォルダをクリックし、[macOS_VCP_Driver] フォルダをクリックしてから、[SiLabsUSBDriverDisk.dmg] プログラムをダブルクリックします。
- ステップ 3** [Install CP210X VCP Driver] をクリックしてから、[Open] をクリックします。ドライバのインストーラが起動します。
- ステップ 4** インストーラの指示に従います。[Continue] をクリックし、一番下までスクロールして [Continue] をクリックし、[Agree] をクリックします。
- ステップ 5** [Continue] をクリックして、パスワードを入力します。次に、[Install Helper] をクリックし、[Close] をクリックします。
- ステップ 6** USB コンソールケーブルと電源をシステムに挿入します。
- ステップ 7** ターミナルを開き、「cd/dev」と入力してから、「ls-ltr」と入力します。シリアルポート tty.SLAB_USBtoUART が表示されます。
- ステップ 8** 「screen/dev/tty.SLAB_USBtoUART <baudrate>」と入力して、コンソール出力を確認します。出力がない場合、最初に Enter キーを押すと、応答が表示されます。USB コンソールを使用する準備が整いました。

WAN および LAN インターフェイスの接続

このセクションでは、WAN および LAN インターフェイスケーブルの接続方法について説明します。インターフェイスケーブルを接続する前に、次の警告文を参照してください。

ポートとケーブル接続

この接続の概要の詳細については、Cisco.com の『Cisco Modular Access Cable Specifications』を参照してください。

表 2: WAN、LAN、および音声接続

ポートまたは接続	ポートの種類、色 ¹	接続 :	ケーブル
イーサネット	RJ-45、黄	イーサネットハブまたはイーサネットスイッチ	カテゴリ 5 以上のイーサネット
T1/E1 WANxCE1T1-PRI	RJ-48C/CA81ARJ-48S、薄茶	T1 または E1 ネットワーク外部 T1 CSU またはその他の T1 機器	RJ-48 T1/E1RJ-48S to RJ-48S TERJ-48S to RJ-48S NTRJ-48S to RJ-48S T1RJ-48S to bareRJ-48S to BNCRJ-48S to twinaxial ケーブル RJ-48S to DB-15RJ-48S to DB-15 null
T3/DS3/E3 WAN	BNC コネクタ	T3 ネットワーク、CSU/DSU、または他の T3/DS3 機器	75 Ω同軸ケーブル
Cisco シリアル	60 ピン D-sub、青	CSU/DSU およびシリアル ネットワークまたは機器	シグナリングプロトコル (EIA/TIA-232、EIA/TIA-449、V.35、X.21、EIA-530) およびシリアルポート動作モード (DTEまたは DCE) に適合する Cisco シリアルトランジションケーブル。 ²
Cisco スマートシリアル	Cisco スマートコンパクトコネクタ、青	CSU/DSU およびシリアル ネットワークまたは機器	
ギガビットイーサネット SFP、光ファイバ	LC、光の波長に応じた色	1000BASE-SX、-LX、-LH、-ZX、-CWDM	適用可能なデータシートに指定されている光ファイバ
ギガビットイーサネット SFP、銅線	RJ-45	1000BASE-T	カテゴリ 5、5e、6 UTP

¹ ケーブルの配色はシスコのケーブルに固有の色です。

² ケーブルの選択方法については、『Cisco Modular Access Router Cable Specifications』を参照してください。

接続手順および注意事項

- 各 WAN および LAN をシャーシの適切なコネクタ、またはネットワークモジュールまたはインターフェイスカードに接続します。
- コネクタに負担がかからないように、注意してケーブルを配線します。
- ケーブルが絡まないように、ケーブルを束にして整理します。
- 経路と曲げ半径が安全な範囲になるようにケーブルの配線を確認します。必要に応じてケーブルの配線を調整します。

- サイトの要件に従ってケーブル タイを装着します。

ケーブルのピン配置については、『Cisco Modular Access Cable Specifications』を参照してください。



-
- (注) デバイスを設置してケーブルを接続したら、基本設定でデバイスを設定できます。デバイスの設定方法の詳細については、『Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジ プラットフォーム ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド』を参照してください。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。